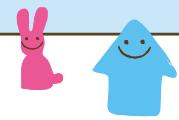


ひとりの付き添いを、
みんなの寄り添いに。

理事長メッセージ



2009年、私は初めての出産と同時に病児の母となりました。

いくつもの病院で、子どもの入院に付き添う中、
体験したり見聞したりしたことが、この活動の原点です。

子どもが元気になるために、そばで付き添う親は
チーム医療において重要な役割を担っているのに、
付き添い中の食事や睡眠などへの
サポートは十分ではありませんでした。

自分のことを後回しにするうちに、いつしか笑顔が消え、
私を含め倒れてしまう親が周りにたくさんいました。

入院中の子どもと付き添う家族の
笑顔を守りたい——。

そして、病気や障害があっても
その家族らしく子育てを楽しみ、
そうした親子を社会で支えられる世界を
目指して活動してまいります。

温かいご支援を
どうかよろしくお願ひいたします。



理事長 光原ゆき



Family Data

付き添う家族が置かれた厳しい環境

全国で入院する子どもの数は年間80万~100万人¹⁾と推定されています。長期入院のうち、泊まり込んで付き添う家族は全体の86.1%²⁾を占め、また、私たちが実施した大規模調査³⁾では、付き添いを希望する・しない以前に必須だった人が7割以上であることが明らかになりました。

長期入院の付き添いによって

体調不良 睡眠不足 栄養不足
58.4%²⁾ 94.8%²⁾ 93.6%²⁾



「付き添い生活
実態調査2022」³⁾
を見る



ご支援のお願い

2024年に認定NPO法人となり、ご寄付は
寄付金控除の対象となります！所得税と住民税の
控除が合わせて最大約50%受けられます。
(詳しくは、居住エリア内の税務署へご確認ください。)

支援の形はいろいろ

個人も法人もさまざまな形のご支援を
用意しています！詳しくは公式ウェブ
サイト「寄付する」をご覧ください。



詳しくはこちら

マンスリーサポーターは
月々1,000円～。

継続的なご支援が活動の屋台骨にな
ります！



お申込みはこちら

都度寄付は3,000円～。

都度寄付はクレジット決済、銀行振込、郵便振替、paypayでお受け
いたします。クレジットカード決済をご希望の方は公式ウェブサイトを
ご覧ください。直接振り込みの方で領収書が必要な方は、右のQR
コードか03-6822-5371（代表）に住所などを必ずご連絡ください。



問い合わせ
フォーム

● 三井UFJ銀行

本店 普通口座1766316

口座名義：特定非営利活動法人

キープ・スマイリング

よみがな：トクヒ)キープスマイリング

● 郵便振替

口座番号：00180-2-551449

口座名義：特定非営利活動法人

キープ・スマイリング

※郵便局に備え付けの振替用紙にご記入のう
えお振り込みください。

個人の支援

● ふるさと納税

で応援

寄付金のうち2,000円
を超える金額は所得
税の還付・住民税の控
除の対象となります。

● 買って応援

Amazon ウィッシュリスト
・アスクルポイント
・チャリティグッズ購入
・イオン黄色いレシート

● 売って応援

・ブックオフ「キモチ。」
・買取大吉「モノ募金」

● 遺贈寄付



法人の支援

● 賛助会員 一口10万円～

● 現物寄付・協賛

● コラボレーション

● チャリティ自販機の設置

● 理事長講演会の実施

● 従業員ボランティア参加



1) 全国の病床数と病床利用率、平均在院日数から当団体が算出した数字

2) 聖路加国際大学との共同調査「入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査」

3) 「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」

認定NPO法人キープ・スマイリング

〒104-0061 東京都中央区銀座4-13-19 銀蔵ビル4F
info@momsmile.jp <https://momsmile.jp>



公式
webサイト



入院中の子どもと家族みんなが笑顔でいられるように

Keep Smiling!

認定NPO法人
キープ・スマイリング



Project

1

「ミール de スマイリング」でおいしいごはんを届ける!

私たちが食を通じて伝えたいのは「あなたは決して一人じゃないよ」ということ。「おいしい食事で心も元気になりました」という付き添いママたちの声を励みに食の活動を続けています。

2015年から東京都内の中小児病棟やファミリーハウスで付き添い生活を続けるご家族に手作りの温かい夕食やお弁当を定期的に届けています。調理ボランティアとしてプロの料理人を含め多様な背景を持つ人たちがサポートしてくれています。



長年サポートしてくださっている「NoCode」米澤文雄シェフと

長期休暇を利用して高校生や大学生も調理ボランティアとして参加

「付き添いのなかでも年賀の喜びを」大晦日におせちを作ってご提供

2021年、コロナ禍の対応として地域の飲食店と協働しながらお弁当の配付事業を開始しました。この活動は東京・銀座から東京・世田谷、佐賀へと広がっています。

提供したお弁当の一例です!



銀座「天ぷらやす田」
元祖天巻き弁当



ボランティアスタッフが
チームでお届けします!



佐賀「アクアデヴュー佐賀
スイートテラス」クリスマス
スペシャルランチBOX

Project

2

「付き添い生活応援パック」で生活必需品を無償で届ける!

2020年、新型コロナウィルスの流行をきっかけに病院への出入りや交代が難しくなり、入院する子どもに付き添う家族の孤立がいっそう深まりました。この状況でもできる支援として誕生したのがこの事業です。10日間以上泊まり込んで付き添うご家族を対象に、調理のいらない食品や疲労に効くアイテム、入浴する暇もない中で役立つ衛生用品など、厳しい付き添い環境を少しでも快適に過ごせるものを詰めて無償で病棟に届けています。利用者アンケートでは、5段階評価中平均4.6~4.7台を保ち、高い満足度となっています。



付き添い応援パックには、

この活動に賛同していただ

いた多くの企業からの協賛

品も入っています!



付き添い
応援パックの
お申込みは
こちらから

Project

3

緊急・短期入院の
付き添いにも支援の手を
「付き添い生活応援
パックライト」

子どもの入院は、ある日突然やってきます。慣れない環境で迎える不安な初日に、少しでも安心を届けたい。そんな思いから「付き添い生活応援パックライト」は生まれました。トライアル事業で多くのご家族と看護師の皆さんから好評をいただき、2025年7月より、地域の救急医療を担う病院での配布を開始しています。



Project

4

クチコミサイト「つきそい応援団」
年10万人以上を情報で支援

2022年9月、クラウドファンディングによるご支援を得て、クチコミサイト「つきそい応援団」をオープンしました。経験者の知見を共有することで、家族の不安を「安心と笑顔」に変えるためのサイトです。全国140以上の病院別掲示板、テーマ別掲示板、付き添い生活に役立つ情報を提供。病児・家族を支援する団体の活動・イベント紹介コーナーもあります。(入院してすぐに必要な情報をまとめたハンドブックもご用意しています)



つきそい応援団
サイトはこちら



Project

5

付き添い環境を改善するために
大規模調査や国を動かす提言も

2023年6月、3600人以上の当事者による「付き添い生活実態調査2022」を発表し、同時に国に要望書を提出しました。これを受けて子ども家庭庁による検討会が開始され、当事者を代表して参加。付き添い環境改善に向けた話し合いを行いました。そして、令和6年度の診療報酬改定には、見守りをはじめ、付き添い者の食事や睡眠などへの対策が盛り込まれました。多くの関係者の尽力により、長い間動かなかった日本の付き添い環境が、一歩ずつ改善に向かい始めました。



「理想の
付き添いの形」
を見る



当事者の声を子ども家庭庁に届ける